

会 議 録

1 会議名

令和6年度第7回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 自主的な審議 (公開)

- ・ 柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について
- ・ 町内会長連絡協議会との懇談会について

(2) その他 (公開)

3 開催日時

令和6年11月19日(火) 午後7時00分から午後7時43分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・ 委員：吉井一寛(会長)、中村誠(副会長)、石田一久、金子豊彦、小出祥世、小関信夫、小山慶、坂木朋子、佐藤達弥、佐藤昌貴、佐藤まゆみ、滝澤正芳、蓑輪和彦、山川昌恵
- ・ 事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、松崎次長、石澤次長、五十嵐産業グループ長、宮崎建設グループ長、石川市民生活・福祉グループ長、小林教育・文化グループ長、長井地域振興班長、大場副主幹

8 発言の内容(要旨)

【松崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に佐藤達弥委員を指名。
- ・次第 4 の自主的な審議に入る。(1)柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について、各委員会が 1 回目の会議を開催したので委員長から報告をお願いする。最初に、中村副会長が「柿崎山岳会解散後の米山登山道等の維持管理及び魅力発信」の協議結果を報告する。

【中村副会長】

- ・委員会の名称を「米山薬師を守る会」と決め、今後の委員会の進め方を協議した。
- ・柿崎山岳会解散後の課題等を整理するため、11 月 25 日、柿崎山岳会会長に米山登山道等の維持管理の状況などをお聞きする。その結果を踏まえて、山岳会解散後の対応策を協議し、来年の米山山開きまでに結論をまとめたい。

【吉井会長】

- ・中村副会長から報告があったが、「米山薬師を守る会」のメンバーで、追加の報告事項等があったら発言をお願いする。

【滝澤委員】

- ・私は、柿崎観光協会の役員をしている。観光協会では、柿崎山岳会の活動を担うことになるのではないかと非常に警戒している。そのことを念頭に置き話し合いを進めていきたい。

【小山委員】

- ・まずは、柿崎山岳会の皆さんの話を聞かないと協議が進まないなので、次回の委員会で山岳会の皆さんとしっかり話し合いをさせていただければと思っている。そして、来年の米山山開きに市長と米山に登り、山頂で意見書を手渡したい。

【吉井会長】

- ・他の委員の皆さんから質問等はないか。

【石田委員】

- ・今年 10 月、柿崎小学校 4 年生の米山登山に柿崎山岳会から同行していただき、子どもたちは何とか登頂することができた。山岳会の存在は大きく、なくてはならない団体だと思っているので、協議をよろしくお願いしたい。

【吉井会長】

- ・米山山頂に避難小屋とトイレがある。施設の維持管理は、これまで柿崎山岳会に行ってもらい、我々はそれを当然のように受けとめてきた。しかし、山岳会が解散すると、さまざまな課題が発生し改めて柿崎山岳会のこれまでの活動に対し感謝申し上げたい。今後、行政と一緒に対応策を考えていく。
- ・次に「柿崎総合運動公園を魅力あるスポーツ集中エリアに」の協議結果の報告をお願いする。

【佐藤昌貴委員長】

- ・委員会の名称は、スポーツとまちづくりをかけることによって、柿崎区の活性化を図ろうと「スポ×まちプロジェクト」とした。
- ・委員会の進め方を協議した結果、区内のスポーツ施設の現状を把握するため、11 月 21 日に施設の視察を計画した。柿崎区には、上越市内でも誇れる施設が多くあることから、視察後、活用方法などを検討する。視察は委員会のメンバーに限らず、全委員に声かけしているので、多くの皆さんから参加してもらい、幅広い意見や活用方法などを提言していただきたい。

【吉井会長】

- ・佐藤昌貴委員長から報告があったが、「スポ×まちプロジェクト」のメンバーで追加の報告事項等があったら発言をお願いする。

【坂木委員】

- ・柿崎屋内水泳プールが改修されたが、そのことを知っている人、泳ぎに来ている人が少ないと聞いた。柿崎屋内水泳プールの情報をもっと広めて、多くの人に利用してほしいという意見もあった。

【山川委員】

- ・私もスポーツが好きで、特にかきざきドーム、柿崎総合運動公園は非常によい

施設だと思っている。サッカー場、野球場、体育館があり、さまざまなスポーツを楽しむことができるが、柿崎総合運動公園の認知度が低い。このプロジェクトをきっかけに、柿崎区だけではなく区外からも多く利用してもらい、スポーツを通じたまちづくりに区内のスポーツ施設を生かしていきたいと考えている。

【吉井会長】

- ・柿崎区には、総合運動公園とテニスコート、屋内水泳プールと多くの施設がそろっているので、スポーツでまちおこしができると考えている。
- ・他の委員の皆さんから質問等はないか。
(意見、質問なし)
- ・続いて、「移住者、地域、地域団体の新たなネットワークの構築」の協議結果の報告をお願いします。

【佐藤達弥委員】

- ・第1回の委員会において、委員会の名称を「ネットワーク柿崎」と決め、11月12日に第2回の委員会を開催したので、その協議結果を報告する。
- ・ネットワーク柿崎は、こういった方向性で審議し、ゴールをどこに見据えているのかがはっきりしていなかったため、改めて委員会を立ち上げた背景の確認から行った。「人口減少などから活気が薄れつつある」「個々に活動している団体をつなぐネットワークを構築したい」「柿崎を発信したい」「趣味、スポーツ、産業などのさまざまな団体が活動していることを踏まえて、情報発信する場が必要だ」といった意見があったことから、「ネットワーク柿崎」は、地域の人や各団体等が能動的に情報発信、受信することができて、必要なときにつながるネットワークづくりを目的として進めていくこととした。
- ・今後は、インターネット等を活用したプラットフォームの作成を軸に調査を進めていく。先ほど「スポ×まちプロジェクト」から、情報発信の必要性の発言があった。そういったところもうまくつなげて情報発信ができるようなツールにしていきたい。

【吉井会長】

- ・佐藤達弥委員長から報告があったが、「ネットワーク柿崎」のメンバーで追加の報告事項等があったら発言をお願いします。

【石田委員】

- ・委員長から説明があったとおり、新しいネットワークを作りたいと考えている。しかし、インターネットを活用する前に、リアルな状態においても、どういったネットワークができるかを検討しているので確認願いたい。
- ・今回、自治体のプラットフォームに、地域住民と地域団体、企業とがつながり情報を発信したり受信したり、相互関係を築けるようなプラットフォームを目指して、今後調査、研究を行う。

【金子委員】

- ・垣根を低くして、若い人から高齢者まで幅広く情報交換を行い、柿崎区を活気付けることを目指していきたいと思っている。

【蓑輪委員】

- ・情報発信の形態は多くあるが、情報発信だけではつながりが希薄であるという発言を受けて、また活動している各団体がつながるような事例を調べた。全国の各自治体が、地域活性化のために非常によい取組を行っているという事例が多くあるようだ。
- ・委員会の中で、それらの事例を検討して、地域住民参加型の気軽につながるネットワークを作りたいと考えている。

【吉井会長】

- ・私も、この委員会のメンバーの1人だが、第2回委員会の際に石田委員が「わが街ポータル」というサイト情報を持ってきたので、委員各々がこのサイトの内容を確認して、来月の第3回委員会で検討することとした。その他にも、全国各地でさまざまなことを行っているの、調査、研究を進めていく。
- ・その他の委員の皆さんから質問等はないか。

【佐藤まゆみ委員】

- ・回覧版や市の広報紙を見ない世代がいるので、そういった人たちに向けたある区取組がテレビ放映された。回覧板や市の広報紙にボランティア募集の記事を掲載してもなかなか見てもらえず、ボランティアが集まらなかったが、LINEを利用して募集をかけたところ大勢の人が集まったという内容だった。私の周りにも、知っていればボランティアに応募するという人がいるので、そういう方法を使えば情報が伝わると感じた。

- ・また、ある人が地域の皆さんにインスタを教えたり、地域に情報を発信したり、そういう取組を行っているという話を聞き、身近でもインターネットを活用した取組を行っていると感じた。

【佐藤昌貴委員長】

- ・スポーツの関係でも、身近にあっても知らない施設があり、PRにはネットワークの構築が非常に大事だと思っている。また、3つの委員会が立ち上がったので、お互いに協力したり会議に参加したりして幅広くつながり、課題の解決策を導き出せばよいと思っている。

【吉井会長】

- ・自主的審議事項の協議は担当の委員会だけが行うのではなく、全委員が3つの委員会の内容を確認しながら、実のある委員会にしていきたいと考えているので、今後ともよろしく願います。

- ・その他に質問等はないか。

(意見、質問なし)

- ・他に質問等がないため、柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況についての協議を終了する。

- ・次に、(2)町内会長連絡協議会との懇談会について協議する。当初、町内会長連絡協議会との懇談会を今年度中に行うこととしていたが、すでに3つの委員会を立ち上げて審議をスタートさせたことと、NPO 法人柿崎まちづくり振興会が各地区で懇談会を実施しているので、町内会長連絡協議会との懇談会を1年先送りしたいと考えている。

- ・町内会長連絡協議会との懇談会は先送りするが、農業団体、漁業団体、子育て中のお母さんの団体とは、今年度中に懇談会を開催する。各委員長は、事務局と連絡を取りながら日程調整を行い、懇談会を開催し課題を本会議に提案していただきたい。

- ・町内会長連絡協議会との懇談会の延期と、農業団体、漁業団体、子育て中のお母さんの団体との懇談会の開催に関して、委員の皆さんから質問等はないか。

(意見、質問なし)

- ・それでは、了解される委員は挙手をお願いします。

(全委員が挙手)

- ・以上で自主的な審議を終了する。
- ・次に、次第5のその他(1)会議の開催日程について、事務局から報告をお願いする。

【長井班長】

- ・次の会議の開催日程を説明する。
 - (1) スポ×まちプロジェクト 区内スポーツ施設の視察
 - (2) 第2回米山薬師を守る会
 - (3) 第5回柿崎区地域協議会だより編集委員会
 - (4) 第2回まちづくりフォーラム実行委員会
 - (5) 第8回柿崎区地域協議会
 - (6) 第3回ネットワーク柿崎

【吉井会長】

- ・次に配付物について、事務局から説明をお願いする。

【長井班長】

- ・次の配付物を説明する。
 - (1) 地域教育往来第60号
 - (2) アンコンシャス・バイアスを知ろう！ パネル展 in 名立区
 - (3) 令和6年度地域セミナーin上越
 - (4) 上創研シンポジウム2024
 - (5) 上越市創造行政研究所 広報誌

【吉井会長】

- ・3つの委員会を立ち上げ審議が始まった。各委員会の開催案内はペーパーレスと事務局の負担軽減を考慮し、今後郵送ではなくメールで行うので、ご協力をお願いする。
- ・11月16日に、頸北地区地域協議会委員合同研修会が吉川区で開催された。柿崎区地域協議会からは7名の委員が参加し、4つの区の地域協議会から委員が集まり研修を行った。内容は、上越市総合政策部地域政策課の佐藤課長から地域自治推進プロジェクトの概要をお聞きし、その後5班に分かれて地域自治推進プロジェクトの課題についてグループ討議を行った。時間は30分だったが、他区の地域協議会委員と実のある話ができただ。この研修会は、4区持ち回りで

開催している。来年度は柿崎区が担当なので、皆さんと研修会の内容等を検討し計画したいと思っている。

- ・その他で皆さんから何かないか。

(なし)

- ・それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

【中村副会長】

- ・地域協議会の閉会を宣言。

(午後 7 時 43 分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。